

平成23年度第3回杉並区地域自立支援協議会で出された意見と課題整理

テーマ	協議会で出された意見	課題	対応の方向性(幹事会話し合い結果)
シンポジウム	<ul style="list-style-type: none"> ・当事者や家族も多く参加していた。関心度も高い。 ・一般の方には取り組みが見えないので、次年度も継続して開催したらよい。 ・普段の場で当事者が意見交換する場をもっと増やせないか。 ・時間が短い中での準備は大変だった。 ・普段の取り組みや積み重ねをそのまま発表できればよい。 	<p>日常的な場面での当事者の発言をどう引き出せるかが課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・シンポジウムは次年度も行う。準備を早めに行う。 ・準備を早めに行う。 ・障害者虐待防止法が施行されるので、テーマとして「虐待防止」を取り上げるのもよい。
相談支援部会	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待については、起きたときの対応と防止のための取り組みと両面が必要 ・杉並区ならではの取り組みを 	<p>障害者虐待防止システムの構築</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度から、区に虐待予防の担当部署ができ、マニュアルをはじめ、虐待予防についての取り組みを行っていく予定。自立支援協議会や相談支援部会等で意見を聞きながら区で仕組みづくりを行っていく。 ・相談支援部会に求められることが多くあり、関係機関との連携をはじめ、部会で何を担っていくのかは整理が必要。今後の相談支援部会のあり方については、検討の必要がある。
	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者部門との連携はケア24以外も視野に入れていきたい。 	<p>高齢者部門との連携の具体化</p>	
障害福祉サービスの組み合わせ	<ul style="list-style-type: none"> ・原則認めない。例外でも認めることは反対。 ・どういう事例があるのか情報提供が必要。 	<p>協議会での情報提供のあり方。区内のサービス提供ができる基盤が整っていない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・協議会での意見を踏まえ、区で内容を決定する。協議会で出された意見をしっかりと踏まえて必要な内容を決定し、協議会にも報告を行う。
相談支援体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・協議会での論議を元に検討を進めるべきでないか。 	<p>25年度に向けての体制の検討</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、自立支援協議会で出た意見を聞きながら、区で検討を行っていく。
	<ul style="list-style-type: none"> ・3年間支援してきたがサービスにつながらないケースがあること。 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・基幹相談支援センターの役割は 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・一般相談支援と基本相談支援を整理したうえで提示を。委託の内容 		
今年度のまとめと来年度に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止と相談支援体制は継続した論議を 	<p>第三期後期の自立支援協議会で取り上げる課題の検討</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、取り組むべき課題について、優先順序を考慮しながら、自立支援協議会で取り組んでいく。 ・今後の自立支援協議会のあり方については、引き続き検討が必要。
	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス利用計画作成について利用者の説明方法と契約のあり方など 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・就労についての論議をしていないので就労の問題を取り上げてほしい 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・触法障害者の支援について、地域で何が出来るかの論議を 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援事業所と各サービス事業者の接点の課題 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・社会参加と余暇活動の支援をもっと使いやすくしていく論議を 		
<ul style="list-style-type: none"> ・障害当事者の参加を 			